



■平成30年度『パワーアップ研修会』が開催されました

本年度も指導分科会による会員会社、パトロール員のレベルアップを目的とした『パワーアップ研修会』を行いました。本日の研修会にて学びました、トヨタ自動車構内作業における労働災害未然防止活動を実践することにより、災害ゼロを目指します。

日時：平成30年3月22日(木) 13:30～16:30

場所：刈谷市北部生涯学習センター「かきつばた」

出席者：トヨタ自動車(株)安全健康推進部 田畑主幹様

トヨタ自動車安全衛生協力会石川総務委員長、前田分科会長 以下120名(107社)

《次第》

1. 開会の辞 来賓紹介
2. 指導分科会 会長 挨拶
3. ご来賓 挨拶
4. 事務局からのお願い
5. 平成29年度 指導分科会 活動結果報告
6. 平成30年度 指導分科会 活動計画
7. パトロール予定
8. 電動工具等、他点検での指導方法について
9. ロックアウト指摘と対応について
10. 火災・爆発防止に向けた対応について
(DVD動画)
11. 安全講話
「点検員への動機づけ、役割について」
12. 総評
13. 閉会の辞

司会進行



市川委員



安全衛生旗に一礼



《分科会長挨拶》



前田分科会長

本年度は重点テーマ設定し点検指導をした結果、口頭指導が40件と前年度に比べ口頭指導が約倍になっていますが、これはパトロール員の方々の前向きな指導の結果であると理解しています。その効果があつて災害の件数は前年度に比較し9件の減少となっています。ただし平成27年度と比べるとほぼ横ばいという事で、しかも残念な事に3月にも災害が発生しています。このことから災害未然防止の活動をさらに充実して展開していく必要があります。

平成30年度も重点テーマを「挟まれ災害」「感電災害」「墜転落災害」と決めパトロールを実施していきます。「私たちがトヨタ構内で働く仲間の災害事故を未然防止するんだ」という意識を持って活動を展開する事で、トヨタ自動車安全衛生協力会活動に貢献していきたいと考えていますので、どうか皆様方のご理解とご協力をお願いします。

《来賓挨拶》



トヨタ自動車(株)
安全健康推進部
田畑主幹様

昨年の災害を振り返ると、全体では仕入先様の災害は減少していますが、工事と構内委託請負という区分で層別すると、構内委託請負は増加しています。怪我の中身を振り返って見ますと

①行動災害といわれる「すべった、ころんだ、つまづいた」の災害が多い

②変化点があつた時に怪我が出ている

という特徴があります。

行動災害では、職人さん一人ひとりの危険予知・立ち振る舞いが災害防止につながると考えています。変化点では、何かあつたときは、工事を止めて安全を確認した上で再開をお願いします。

火災・爆発防止について、衣浦工場で設備解体中に1件発生させてしまいました、幸いボヤ程度の軽微な火災で済みましたが、工事のリスクアセスメントをする際には火災という切り口の確認も忘れずをお願いします。

《事務局からのお願いと挨拶》



松永専務理事

＜平成29年度の災害の傾向と特徴＞

- 1) 全体的には減少傾向
(重点災害は3件、前年比-9件)
- 2) 31件中16件が「変化点発生時」の災害
- 3) 日常生活でも起こる災害が8割(23件)
- 4) 転倒・足の捻りによる災害が10件
・全てが、ちょっとした気の緩み・
安易な判断による災害！

引き続き、トヨタ殿のご支援のもと、「重点災害の撲滅」と「日常行動における災害の低減」に取り組んでいきます。ご理解とご協力をお願いします。

＜重点＞

1. 基本ルールの徹底順守(守り・守らせる)
2. 工事安全管理の更なる充実
3. 作業員の安全意識高揚への取り組み

《指導分科会 副分科会長・各委員より報告、説明》

◇平成29年度 活動報告



樋口委員

1. 活動目標
2. 活動内容
3. 反省及び課題

◇平成30年度 活動計画



柏原副分科会長

1. 活動目標
労働未然防止活動を実践することにより、災害ゼロを目指す
2. 活動内容
協力会/パトロール
研修会・勉強会

◇パトロールの予定

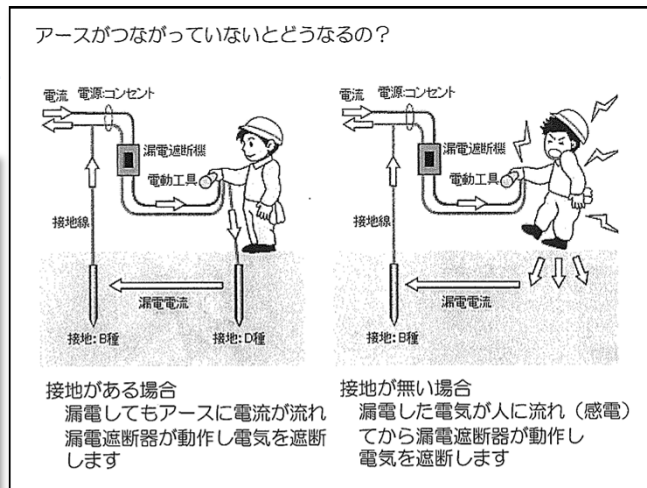
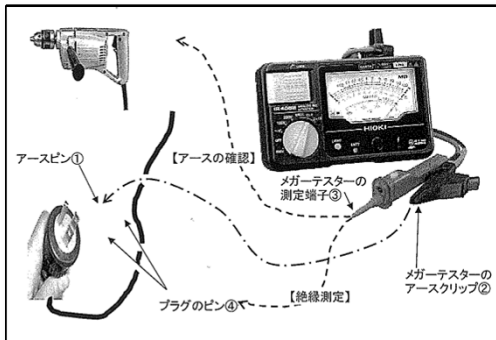


玉本委員

1. 協力会パトロール
電動工具一斉点検
2. 部会パトロール計画
3. パトロール編成表

◇電動工具等、他点検での指導方法について

1. メガテスターの使い方(DVD動画)
2. ウェルダの点検方法
・点検シールの貼りつけ、アースの接続
3. 扇風機、延長コード等の協力会基準について
・協力会基準 CEF002～CEF005



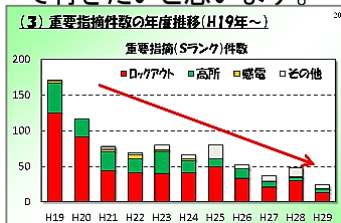
松澤副分科会長



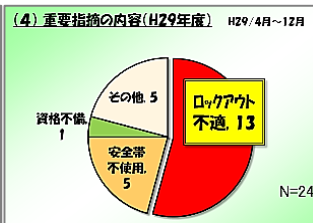
梅田委員

《ロックアウトの指摘と対応について》

ロックアウトについてトヨタ様の安全点検結果と状況を振り返り、なぜ指摘がなくなるのかを皆さんと一緒に考えて行きたいと思います。



ロックアウトの指摘は年々減っているが



平成29年度は13件、全工事事件数に換算すると600件に相当

13件のエラー原因を解析すると

- | 「原因」 | 「対策」 |
|-------|---------------------|
| ・無知 | → 教育訓練 |
| ・不注意 | → 相互注意 |
| ・連絡不足 | → 集団活動 |
| ・意識低下 | → コミュニケーション
意識高揚 |



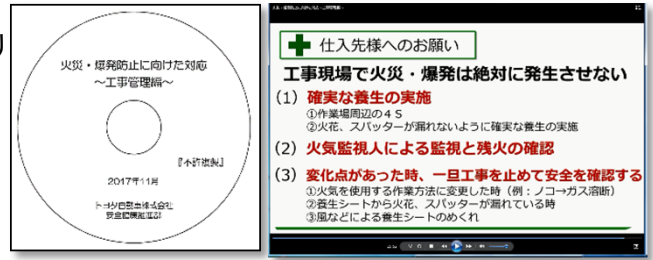
松永専務理事

正しいロックアウトへの指導のポイント

- 1) ロックアウトは、「他人の誤操作による災害」を防止する最良の対策
- 2) ロックアウトの未実施のままの行為は法違反
- 3) ロックアウトは、制度の運用ルールを遵守することで成り立つ
- 4) 絶対に守ることは「ロックアウト3原則」
- 5) 錠前が掛からない設備・装置があった場合は、表示札(スイッチ入れるな札)でも良い、但し、この方法は「不完全な他人の誤操作防止対策」と心得ること

《火災・爆発防止に向けた対応について(DVD動画)》

「火災・爆発防止に向けた対応について」(DVD動画)を視聴しました、工事現場で火災の原因となる要素や対処法が判りやすく解説されています、協力会より会員会社様にDVDが配布されていますので、各社での展開をお願いします。



《安全講話》

テーマ:『点検員への動機づけ、役割について』

何のためにパトロールを行なうのか。災害未然防止の為、悪い事をやっていたら正する、しかしそれだけで終わってはいけない、なぜルール違反をしてしまったのか、その環境も確認してください。今日は指摘の中でも工事管理に関して詳しく見て行きたいと思います。

《Aランク指摘83件のうち26件が工事管理の指摘》

【指摘】**作業責任者関係** 9件:「腕章なし」「作責不在」「資格証不携帯」

【伝えて欲しい事】作業責任者とは「現場のおやじ」、変化点では勇気を持って作業を止められる人。ぜひ、パトロール時には期待をこめて褒めてください

【指摘】**KY関係** 7件:「未実施」「印刷してある」「タイミングがわからない」

【伝えて欲しい事】一人では気付かない危険を、全員で実施(参加)する事で気付けるようになり、気付くことで感受性が高まる

【指摘】**工事管理、工事管理板** 10件:「RA記録表なし」「作業指示書なし」「管理板なし」

【伝えて欲しい事】電話帳・手順書・RA記録表は密接に関係している、何かあったときにより所になるもの



トヨタ自動車(株)
安全健康推進部
田畑主幹 様



パトロール員の役割

- ・安全衛生の伝道師(語り部)
違反の指摘だけでなく、なぜを伝える(伝承する)
- ・安全衛生に関する現場への教育者
現場の良き相談相手となる

皆さんの熱意で現場は変わります。

現場とコミュニケーションを通じて。構内工事安全管理のレベルアップに向けたご支援・ご協力をお願いします。

《総 評》



石川総務委員長

本日研修していただいた「ロックアウト」や「火災・爆発の対応について」などを安全パトロールなどで確認していただければ、より一層トヨタ構内の安全工事につながるのではないかと思います。

また田畑主幹様からお話がありましたように、指導分科会のパトロール時に褒める活動を重点的に行ない作業責任者とのコミュニケーション向上を図っていただいたことが安全向上につながっていると感じています。今日1日研修していただいた事を安全パトロール時に活かして、少しでも災害防止につながればと思っています。本日は長時間の研修お疲れ様でした。

《平成30年度 新任委員のご紹介》



第1施設機械部会
久野 和広 委員
東芝エレベータ(株)



第3施設機械部会
神谷 利盛 委員
(株)豊通マシナリー



電気部会
大塚 誠 委員
(株)トーエネック



運輸納品部会
鈴木 秀和 委員
トヨタ輸送(株)

今後ともよろしくお願ひします